

ふるさと東総

平成28年3月1日発行 No.15

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ…………… 2
- ごみ処理広域化推進事業…………… 2
- 銚子連絡道路早期整備への促進…………… 3
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要…………… 3
- 中学生海外派遣研修事業…………… 4
- その他の主な事業…………… 4



【中学生海外派遣研修事業 交流校であるマレーシアのタマン・デサ・テブラウ中等学校にて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市八の612-1 東総振興センター内
電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302
ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>

はじめに～「安心して暮らせる地域」の実現をめざして～

昨年は、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍に沸き、今年はブラジルのリオデジャネイロで開催されるオリンピック・パラリンピックにおける日本選手団の活躍が期待されております。また、4年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて国内も大きく動き始め、活気が出てきたようにも感じます。しかしながら経済の先行きは不透明な部分が多く、地方の人口減少や少子高齢化など、私たちの生活に深刻な問題も数多く残っております。

このような状況の中で、地方の果たす役割は重要であり、地方創生への改革が図られております。自分たちの地域は自分たちでつくり、守り、発展させていかなければならない地方の生き残りを懸ける時代であり、地域の特性に沿った地場産業の育成など、地域の自主性および自立性を高め住みやすい地域をつくることが重要であります。

東総地域においても、地方道路の整備やごみ処理の広域化などの住環境整備や福祉・医療施策など広域的な行政サービスの充実が望まれております。数多くの課題はありますが構成市と連携をとり、これからも地域の皆さまと一体となって、この東総地域の恵まれた自然環境、観光資源や産業基盤などを活かし、人と自然が調和し、日本一「安心して暮らせる地域」の実現に向け、広域行政に取り組んでまいります。皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 明智 忠直



ごみ処理広域化推進事業

銚子市内で広域ごみ焼却施設と最終処分場の建設を目指しています

事務組合では、皆さまのご家庭や事業所から排出される一般廃棄物を処理する広域ごみ焼却施設と広域最終処分場を整備する「ごみ処理広域化推進事業」を進めています。

広域ごみ焼却施設は銚子市野尻町地区を、広域最終処分場は銚子市森戸町地区を建設計画地とし、現在、それぞれの現地の状況（大気質、水質、騒音、振動、悪臭、動植物など）を把握するため、環境影響に係る調査を実施しています。今後、この調査結果を踏まえ、周辺地域にお住まいの皆さまのご理解が得られるよう、施設計画や環境対策を作り上げていきます。

銚子市、旭市、匝瑳市それぞれの既存のごみ焼却施設は老朽化し、最終処分場の埋立残余量も少なくなっているため、3市ともに新たなごみ焼却施設と最終処分場の建設が急務です。これらの施設は、私たちの生活に欠かすことができない重要な施設です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



① ごみ処理経費を縮減できます

3市共同で施設を集約し、新たな広域ごみ焼却施設と広域最終処分場を建設することで、施設稼働後の維持管理費も含め、ごみ処理経費の縮減を図ることができます。

② より環境に配慮した施設整備が可能となります

新たな広域ごみ焼却施設では、焼却によって発生する熱を利用した発電が効率的に行えるようになります。その結果、発電所における化石燃料等の消費を少なくすることができるため、間接的ですがCO₂の排出を抑制し、地球温暖化防止に貢献できます。

また、安定した燃焼管理、高度な排ガス処理設備の導入が可能となり、ダイオキシン類の削減など、より環境に配慮した施設整備が可能となります。

銚子連絡道路早期整備への促進

地区大会

平成27年5月25日、匝瑳市八日市場ドームにおいて第17回銚子連絡道路整備促進地区大会を開催いたしました。

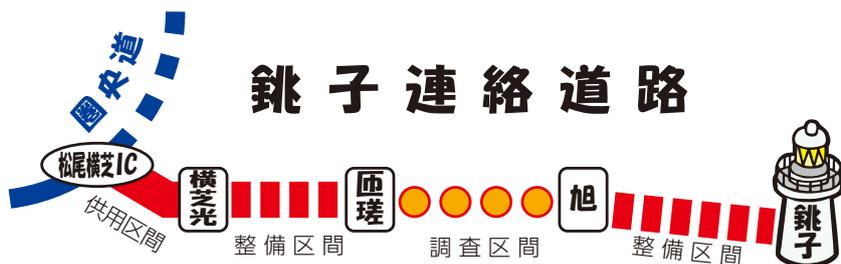
国・県・沿線市町関係者等大勢の方々の出席のなか、大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長(旭市長)は、「地域住民が安心して豊かに暮らせる地域社会の確立には、道路網整備が不可欠であります。」と、この銚子連絡道路の早期整備を来場者に訴えました。

また、「アベノミクスの地方創生と銚子連絡道路の重要性について」と題しまして千葉商科大学学長の島田晴雄氏による基調講演を行いました。

会長あいさつ



県へ要望書提出



要望活動

第17回銚子連絡道路整備促進地区大会での決議をふまえて、平成27年7月9日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である林幹雄経済産業大臣の紹介で、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。

国土交通省



財務省



東総地区広域市町村圏事務組合の概要

○事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：315.60平方km

圏域人口：179,082人

銚子市 面積：83.91平方km 人口：70,210人

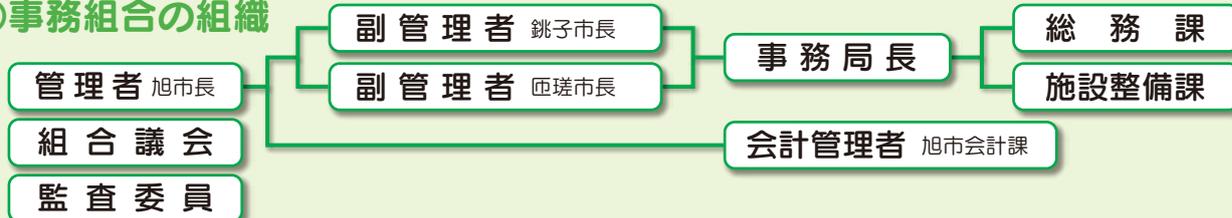
旭市 面積：129.91平方km 人口：69,058人

匝瑳市 面積：101.78平方km 人口：39,814人

【平成22年国勢調査より】



○事務組合の組織



平成27年度 東総地区中学生海外派遣研修事業

圏域内中学2年生30名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修(シンガポール/マレーシア)』が、平成27年7月28日から8月1日(4泊5日)までの日程で実施されました。

この研修では、シンガポールでの班別自主研修やマレーシアのタマン・デサ・テブラウ中等学校を訪れての交流会など、積極的な英会話の実践をテーマに充実した研修を行ってきました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポールの街を散策しました。道に迷うなどのハプニングもありましたが、各班とも団員が協力し合い、これまで学習した英会話に身振り手振りを加えながら、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

マレーシアのタマン・デサ・テブラウ中等学校での交流会では、現地校生徒からの熱烈な歓迎を受け太鼓の演奏や民族舞踊を披露していただきました。こちらの研修団からは日本語と英語の歌の合唱、茶道のお点前、カッパス、南中ソーランを披露しました。そして交流の証として記念品の交換を行いました。その後、いくつかのグループに分かれ現地校生徒に校内を案内していただき、日本の学校との違いに団員たちは驚いていました。短い時間のなかではありましたが、異国の友達と英語を使って交流することができたことは貴重な体験となったことでしょう。

今回の研修では、多民族国家であるシンガポールやマレーシアで、公用語である英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重しながら生活している様子を肌で実感することができました。

この経験が、次代を担う中学生たちにとって国際社会への関心を高めるとともに、日本の文化・日本の良さなどを再認識する一つのきっかけになってくれればと思います。



班別自主研修 ホテル前にて



交流会 合唱の様子



交流会 学校案内を受ける様子



マレーシア文化村にて

その他の主な事業

職員採用試験事業

構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

実施日：平成27年9月20日(日) 試験会場：銚子市立銚子高等学校

参加団体：5団体(銚子市、旭市、匝瑳市、東総広域水道企業団、八咫水道企業団)

試験職種：13職種(一般行政職、技術職、保育士職、消防職等)

応募者数：362名 受験者数：312名

職員共同研修事業

構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修：新規採用職員

中級職員研修：在職期間10年以上の職員

監督者研修：係長又は同等の職にある者…ほか